
都市地理班
2009年度の研究計画と予算案

2009.5.19

立命館大学

吉越 昭久

2009年度の事業計画

- 研究の実施・継続(仮設検証に重点を置いて)
例:寺院の立地と水環境の変化など
- 研究成果のまとめと整理
例:都市地理班内、他の班との成果の統合など
- 研究成果の公表(単行本の刊行ほか)
- 現地調査(海外・国内調査)
- ミニシンポ(研究発表会)の開催(7月25日)を通しての調整
- 地図・資料の整理・公開にむけての準備

2009年度の研究計画

- 吉越昭久(立命館大学)「アジアの諸都市における水域の変化と地下環境のかかわり」
- 安達 一(JICA)
- 一ノ瀬俊明(環境研究所)「対象7都市の数値シミュレーション」
- 井上 学(平安女学院大学)「台北における公共交通網の建設と地下水のかかわり」
- 遠藤崇浩(総合地球環境学研究所)「地下水法制度、地下水管理政策の研究」
- 香川雄一(滋賀県立大学)「都市化と水文環境の変遷、東京・大阪の工業化、宗教施設の立地と土地利用」
- 片岡久美(秀明大学)
- 加藤政洋(立命館大学)「大阪、台北の都市発展と地下環境」
- 鈴木和哉(JICA)
- 谷口智雅(立正大学)「東京の地下水環境、水利用と生活空間の関係」
- 白 迎玖(東北公益文科大学)「都市気温の上昇と地下温度との関係」
- 山下亜紀郎(酪農学園大学)「大阪の工業用水の時空間的变化、ソウルの清溪川の景観評価」
- 戸所泰子(立命館大学・研究生)
- 白木洋平(立正大学)

予算案

■ 海外都市調査(一人15万円×8)	120万円
■ 国内都市調査(一人5万円×4)	20万円
■ 国内会議費(一人5万円×計6)	30万円
■ 謝金(含海外の通訳)	80万円
・ 図書・地図代	10万円
・ 都市熱	65万円
・ 雑費	25万円
合計	350万円